

セントラルヴァレー禅ファウンデーション

2011年1月7日

親愛なるジョー そうん ドーリング

私達はAZTA協会の心華老師のE-メール記事より、近日ZSS委員会が開かれる事を知りました。心華老師が誉れ高い地位を登って行かれることを、まずお祝い申し上げ、同時に、現在のZSSの困難な状態を察し、貴方の責任の重さを想像して同情いたします。三人のほうえん寺僧伽のメンバーの手紙が私のもとに届きました。その内二人の手紙は既に島野アーカイブに載っておりますが、主として心華老師に関する評価で、すでに皆の知っている事、(又は誤解している事)で要するに、彼女の島野栄道に対する忠義心の強さと、彼女の悟りに対する解釈の仕方です。-これは多くの禅教師達が我々自身の修行において苦心する事です。三人の心華露光の弟子達は口を揃えて、露光の師としての力量は認めているのですが、島野栄道にたいする忠義心の強さのため、悟りを開いた人間の正体を見抜く眼力には疑問を抱いています。ZSSの指導者として、事の真相を見極めていられるかどうか疑問であり、そのため、ZSSの運営、目的も変わって来ると思っています。

島野栄道は支配権を心華老師に(委員会も含めて)譲ったと聞きました。私達は、ZSSの指導運営が、長年の悪弊、僧伽メンバーに対する陵辱の後、今日、すべてが正されたと考える事が出来るのでしょうか? もし、貴方が何か障害に面し、私達の助力を必要とするならば、以前あったと同じように私達は即刻、援助に駆けつけます。指導権の手綱は貴方の手にあり、私達禅教師、禅そのものの将来がすべて貴方の認知力、貴方がこの問題をどのように片付けて行くかに関わって来れるのです。貴方が島野栄道を、ZSSから除く過程は、禅に関わるすべての人々が支持し注目している事なのです。これは西洋における禅の歴史的な重大事件なのです。摩訶僧伽は倫理の基準を定め、天賦の才があると言われている教師でさえも、不行跡を黙認されてはならないのです。

ZSS宛に多くの師家から大量の手紙がよせられました。これは島野栄道のNYT宛の手紙、彼の辞職の原因と結果を否認し、彼の不行跡を(偽造-本人の主張)とする事件の進展に関するものです。

この手紙は、島野栄道が前回の手紙で彼の不行跡を謝罪し、次いでこれを撤回したことで、結果的には現実を拒否する性質のものでした。貴方が1月10日の委員会に出席なさる折、どうかこの手紙の性質を十分考慮して、フェイス トラスト インステイテュート(女性陵辱救済組織)の忠告に従ってください。

禅教師として、心より西洋の禅の将来、真实性を大切に思うならば、島野栄道のZSSからの実際の辞職を考慮されるようお願いします。女性住持: ちょうぜん ベイズ、女性住持: えぎょく 中尾の、- 厳格な倫理にもとずいて、僧伽の健全化を計る - の提案を果たすために、私はもう一つ、フェイス トラストには見えなかった事を要求します。NYTにおける島野栄道の謝罪は彼の不行跡が公表暴露された後行われたものである事、- そして彼の謝罪の内容は、仏教の教えとの絶縁を意味するものであるという事実に注目してほしいと思います。

1. 島野栄道は、ZSS構内で、又はその保護下で教鞭をとってはならないこと(フェイス トラストの忠告)、これは彼が大菩薩禅堂、又は、ニューヨーク禅堂正法寺内に居住することも、オフィスを持つことも許されない事が含まれています。
2. 現在の彼とZSSとの退職契約では、フェイス トラストの忠告に逆らって、彼が引き続き接心、彼の達磨クラス(日本語)を指導するそうですが、私はフェイス トラストの忠告に同意で、彼の教師としての地位を継続させてはいけないと思います。

3. 島野栄道は、前回のZSS委員会で決定された事ですが、たとえZSSの賛助があっても弟子（古参の弟子も含めて）面会してはならないというフェイス トラストの忠告に従うべきです。
4. これらの変更は正式に公表されるべきです。 前回、ZSSによって彼は引き続き接心を指導し、古参の弟子には面会するという契約を、正式表明したように、新しい契約も一般に届くように訂正、公表されるべきです。
5. 彼は、NYTで公式に謝罪し、次いで謝罪を撤回しました。 これはAZTAも含めてさまざまな場所で公表されました。 彼はもう一度、NYTで公表した手紙に対して謝罪すべきで、私は島野栄道の仏教徒としての規律を破った事実の謝罪を見たいと思います。

貴方の達磨への貢献を感謝します。

住持 みょうあん グレース サイアソン 哲学博士